

競 技 上 の 注 意

競技審判上の注意

[全般的事項]

1. この大会は、(公財)全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び平成30年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
2. 審判はすべて大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗では準々決勝、個人対抗では準決勝より付けるものとします。その他の試合においては原則として付けません。
3. 選手は試合開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
5. 試合の進行状況に応じて、予定された試合の開始時刻やコートを変更することがあります。放送には十分注意してください。
6. 試合を連続して行う場合のインターバルは次のとおりです。
＜学校対抗＞ 学校対抗が連続する場合は30分とします。
＜個人対抗＞ 個人対抗(単・複)が連続する時は20分とします
7. 各試合(マッチ)のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中、一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認めます。(選手は20秒前にはコートに入ること)
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。(選手は20秒前にはコートに入ること)
8. インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に2人までです。主審の「(コート番号)20秒」で、コートから離れてください。なお、コーチングシートを設けます。
9. 個人対抗単において、試合開始前の練習(3分間)をする相手は対戦相手とします。その際のシャトルは、大会本部が用意します。
10. 試合(マッチ)中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。
○容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れて下さい。
○氷嚢は、ベンチ、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管してください。
11. サービスの遅延行為に関する判定は主審が行います。
12. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
13. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。(競技規則第16条)
○息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
○主審の許可なしにコートを離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対しての横柄な振舞い、下品で無礼な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。
14. 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。(背面の文字は明確に判読できるもの)
15. 競技中の怪我や病気については、主審が判断します。もし必要ならレフェリーを呼び、レフェリーの判断に従うことになります。
16. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では当該選手と監督、個人対抗では当該選手に限ります。(監督は「IDカード」を必ずつけてください)
17. 選手は試合終了後、選手同士の握手の後、主審(サービスジャッジ)とも握手をすることを心掛けてください。
18. 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにしてください。また、競技フロア内での携帯電話の使用は、一切認めません。
19. 試合中にモバイル機器を使用したアドバイス・コーチングを受けることを禁止します。
20. その他は、監督会議における打ち合わせ事項に準じます。

[学校対抗に関する事項]

1. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。
2. タイムテーブル上で試合開始時刻9：30（1 段目）に出場するチームに限り、試合開始前に当該コートでの練習を認めます。その時間は、先番チームが8：20～8：30、後番チームが8：30～8：40の10分間とします。
3. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封してあります。次回戦以降は主審より直接手渡します。
4. オーダー用紙は、5枚複写で記入し、切り取らず5枚とも提出してください。
5. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出して下さい。対戦校立合いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守をお願いします。なお、競技1巡目は8：20とします。2巡目からのオーダー交換の時間は、放送でお知らせします。
6. 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無い時には「棄権」とします。
7. エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名）は、試合開始15分前あるいは選手集合の放送により選手集合所に集まり、担当委員の指示に従ってください。
8. ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされた者のみです。
9. 入場は、主審の誘導により、組合せ番号の先番チームからとします。
10. 試合開始前の練習は、マッチ（試合）ごとにあいさつを交わした後、主審の指示で3分間行ってください。
11. マッチ（試合）は、1回戦より2～3コート並行して行うことがあります。その際、同一選手が連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
12. マッチ（試合）は、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。
13. 勝敗が決定したら対戦チームとあいさつをし、主審の誘導により、プラカードに続いて整列し、勝利チームから退場してください。

[個人対抗に関する事項]

1. 選手の変更は、いかなる場合でも認められません。
2. 個人対抗に参加する選手は、試合前に試合会場での練習があります。詳しくは、会場練習タイムテーブルをご確認ください。
3. 選手は、試合開始10分前あるいは選手集合の放送により、選手集合所に集まり、担当委員の指示に従ってください。
4. 入場は、主審の誘導により、組合せ番号の先番選手からとします。
5. 試合開始前の練習は、あいさつの後、主審の指示に従い、同時に3分間とします。（単の場合、対戦者同士で行ってください）
6. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、主審の誘導によりプラカードに続いて整列し、勝者から退場してください。

[一般上の注意]

1. 各競技会場の開場は、8：00です。
2. 競技者は会場到着後、IDカードを着用（首にかける）の上、「受付」を済ませてから入場してください。
3. 各競技場では、担当委員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別を付けてください。
4. 競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止します。但し、学校対抗の際、ベンチでの水分補給を認めます。濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
5. 応援の際、競技に支障をきたすことがないように配慮をお願いします。太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援は禁止します。競技に支障があるとレフェリーが判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処します。
6. フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。
7. ゴミは各自で責任を持って持ち帰ってください。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
8. 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
9. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
10. 各会場ともは最前列から2列目までは、一般および対戦校用応援席としますので、荷物等は置かないようにお願いします。各会場とも観客席が少ないので、応援終了後、次の対戦校の関係者に席をお譲りください。特に、浜松アリーナ（サブアリーナ）は全座席を対戦校用応援席としますので、応援終了後は次の対戦校の関係者と入れ替わってください。
11. 浜松アリーナの選手集合所は、試合ごとに場所を指定します。GT1～7,19～24は集合所②、BT1～5,19～22は集合所③、9日はサブアリーナを集合所とし、これ以外の試合は集合所①とします。
12. 浜松アリーナの選手控え場所は、5日は研修棟2階、6～8日は選手集合所②、9日はサブアリーナとします。